

組合員のための **無料法律相談**
要予約
 7月28日(火)14時~15時半
 ●担当/山口第一法律事務所
 ●場所 内山 新吾 弁護士
 生協ふれあい会館2階「相談室」
 〓0836-34-2510

健康をつくる 平和をつくる いのち輝く社会をつくる

健康のひろば

●発行 **医療生活協同組合健文会**
 ●発行責任者 専務理事 森 健弘

医療生協健文会現勢 2020年5月31日現在

●組合員	18,605人
●出資金額	612,656,000円
●平均出資金額	32,930円
●支部数	21支部
●登録班数	134班

住所変更等ありましたら、まちづくり組合員活動支援部までご連絡ください

〒755-0005 宇部市五十目山町16-23
 TEL 0836-33-6644 FAX 0836-33-6651
<http://www.mcoop-kenbun.jp/kenbun/>

定款地域(活動する地域)・・・山口県全域

感染流行の『第2波』に備え、感染予防につとめよう!

いま、必要とされている 組合員活動を、ともに考えよう

組合員のみなさまへ ~7月からの組合員活動について



会議の前に検温チェック

みなさまいかがお過ごしでしょうか?
 新型コロナウイルスの感染が広がり、活動・外出の自粛で従来の組合員活動ができませんでした。伝播しにくい日本の生活文化があるとはいえ、今後、第2波、第3波も予測されます。
 私たちも「新しい生活様式」を参考にして感染予防に留意しながら今後の組合員活動をすすめていきましょう。

●気になる方への電話や訪問での声かけについて

この間の自粛などで認知機能の衰えや、ストレス過多での健康悪化なども懸念されます。また経済活動の低下での生活困難や受診控えなども心配されます。気になる方への電話や訪問はひきつづきおこなっていきましょう。支部は新たなつながりづくりのとりくみを試行しながら、「医療生協があつてよかった!」を地域にひろげましょう。



感染対策の基本～手指衛生の学習会

●新しい生活様式を徹底した上での活動を重視します

*一人ひとりの基本的感染防止の3つ⇒身体的距離の確保、マスクの着用、こまめな手洗いと自身の体調管理(非接触型体温計とアルコールジェル、ハンドソープと掃除用の消毒液を各支部用に用意しています。熱中症予防のためのマスク着用の仕方は2面をご参照ください)



健文会組合員活動用 感染防止対策グッズ

●7月以降も中止もしくは慎重にする組合員(地域)活動

- ①不特定の対象者を相手にする活動、濃厚接触の危険性のある活動
- ②食事提供を伴う活動(基本的感染防止対策を講じたうえで、工夫ができるなら実施可能)
- ③3密になる恐れのある班会・サークル活動



●県内で新たな発生があった場合は 県や該当する市の対応に準じて対応していきます

ご不明な点は

医療生活協同組合健文会
 まちづくり組合員活動支援部

☎0836-34-2510

全国の医療福祉生協の 組合員のみなさまへ

自分達の事業所を守ろう!
医療・介護従事者を応援しよう!
地域医療と介護を守ろう!

「コロナ危機を乗り越え、経営基盤を強化するための増資運動」への協力を呼びかけます

いま、全国の医療福祉生協の事業所では昼夜を分かたず医療・介護の提供を懸命に続けています。多くの職員は「いつ感染するか分からない恐怖」と闘いながら、住民のいのちと地域医療をまもり、地域住民のくらしに寄り添い、奮闘しています。
 職員の身体的負担、心理的負担は大きく、医療・介護従事者に対する偏見や差別が追い打ちをかけ、心身とも大きく疲弊しています。
 また、感染発覚による一時的な外来診療や病棟閉鎖、外来受診控えや介護の利用控え、歯科診療と健診の延期などで医療機関の収入は激減しています。
 加えて感染対策関連費用の増加も加わり、先の見通せない経営危機に陥っています。
 事業所の経営を守ることは、医療従事者を守ることにつながり、そのことが地域の医療と介護を守り、組合員のいのちとくらしを守ることに直結します。
 医療福祉生協連がめざす安心して住み続けられるまちづくりをすすめるためには私たちの事業所の存在は欠かせません。
 医療福祉生協連の役員一同、ひきつづき全力で奮闘する決意ですが、組合員のみなさまに「経営基盤強化のための増資」にご協力いただきますようお願い申し上げます。
 2020年5月
 日本医療福祉生活協同組合連合会
 代表理事 会長理事
 高橋 淳



“同じ生協連の仲間として、私たちが力になりたい”

6月2日、生活協同組合コープやまぐち様より健文会へ5000枚分のマスクを寄贈いただきました。医療機関はまだまだ医療用マスクを手しづらい状況が続いており、有効活用させていただきます。本当にありがとうございました。

▼新型コロナウイルス感染は全世界で衰えを見せません。日本の緊急事態宣言は解除されましたが第2波が必ず来ると言われています。3密を避け、手洗いやマスク着用などの感染対策で日常生活を再開しましょう。
 ▼一方、新型コロナウイルスに対応できない程、減らされた保健所、医療機関、医療器具、防護服等々の不足は、自己責任を基本に小さな政府を推進し、福祉・公共サービスの縮小、公営事業の民営化、グローバル化を前提とした経済政策、規制緩和、労働者保護廃止など中曽根・小泉・安倍と続く新自由主義の経済政策が原因であると多くの人に気づかせる事態にもなりました。▼試験を乗り越え、安心して暮らせる世にしたいものです。(F)



病床と医療従事者 削減ではなくいのちを守ることを基準に

「感染者を受け入れる病院がない」「このままでは医療崩壊」。新型コロナウイルス感染拡大により、日本の医療体制の課題が浮き彫りになりました。

緊急時対応の余裕がつかれない医療制度

新型コロナウイルス感染者用の病床はピーク時に31,416床必要とされますが、確保されているのは19,206床(6月3日現在)。医師や看護師など人員体制の不足も深刻です。

その背景に、1980年代以降臨調行革・構造改革の名のもと医療分野でおこなわれた公的医療費抑制政策があります。需要面では患者自己負担を増やし、供給面では病床削減や病院の統廃合、医師養成数の抑制を医療の市場化・産業化と一体で進めました。

本来医療には、緊急時に対応するための病床と人員体制の余裕が必要です。しかし、病床の90%以上入院がなければ経営が成り立たないため、常にフル稼働を迫られているのが現状です。コロナ感染者受け入れの

ためには、特別の病棟や病室を整備し、医療従事者の特別の体制をとり、一般の診療や入院患者数を縮小する、手術や健康診断を先延ばしすることも必要になります。対応病院の減収計は月2400億と見込まれます。1次補正予算で政府が減収分を補填するとして示した「緊急包括支援交付金」は年額1490億円。あまりに現実と乖離した額との批判を受け、2次補正予算では2兆2370億円と15倍に拡充。介護・障害福祉も新たに交付金の対象となりました。

日本では、昨年9月と今年1月に厚生労働省が各都道府県に発出した「再編統合の議論が必要」とされた公立・公的病院は全国440。方針は新型コロナウイルス感染拡大後も見直されることなく、3月4日には統廃合を進め病床を20万床削減するための具体化を指示しています。3月27日の参院予算委員会でも、せめてコロナが収束するまでは病床削減計画は停止す

コロナ危機でも見直されない病床削減計画

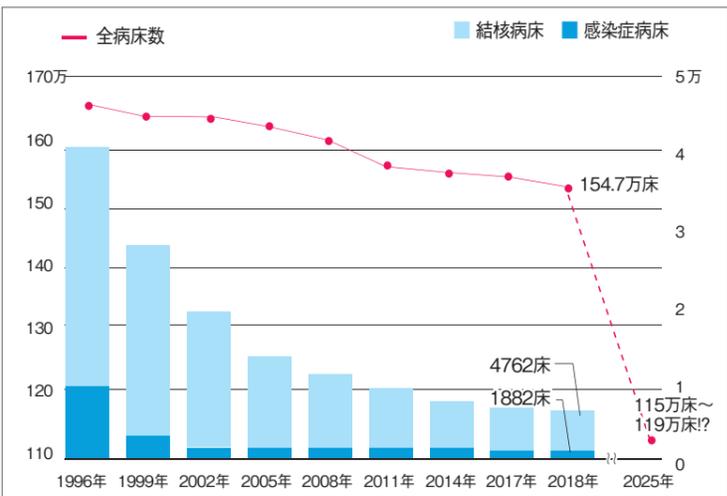
コロナ危機時に重症患者を適時に治療する体制を整えることができたドイツですが、病院病床が「過剰」と名指しされても維持してきた政策が多くの命を救ったといわれます。

べきだとの意見に、加藤厚労相は「並行して将来に向けた対策も考えるのは当然だ」と拒否しました。緊急時に適切な対応のできる病床の確保と医療従事者の配置基準へと政策転換させることこそ、国民のいのちとくらしを守る政治の役割ではないでしょうか。

再編統合の議論が必要とされている山口県内の病院(県内の公立・公的病院30のうち13)

岩国市立錦中央病院／岩国市立美和病院／光市大和総合病院／周南市立新南陽市民病院／地域医療支援病院オープンシステム徳山医師会病院／光市立光総合病院／厚生農業協同組合連合会小郡第一総合病院／独立行政法人国立病院機構山口宇部医療センター／美祿市立美東病院／美祿市立病院／山陽小野田市民病院／小野田赤十字病院／下関市立豊田中央病院

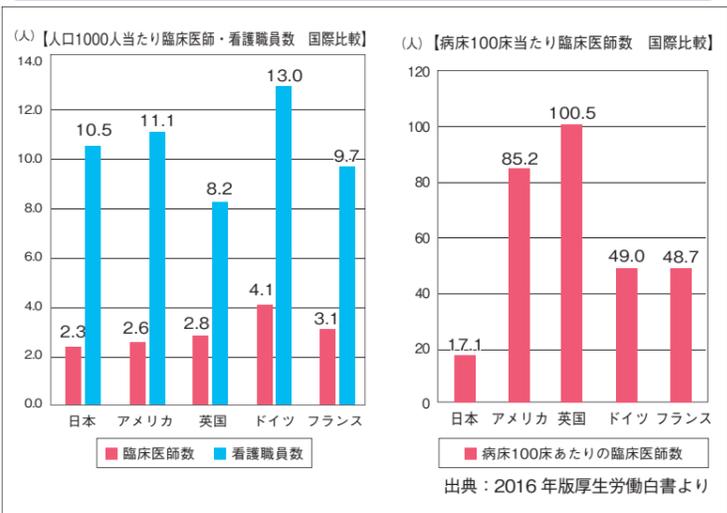
資料1 病床削減 これまで・これから



資料2 ICUなどの病床数 国際比較

Table comparing ICU and infectious disease beds per 100,000 people across various countries including USA, Germany, Italy, France, Spain, UK, and Japan.

資料3 人口1000人当たり臨床医師・看護職員数 国際比較
資料4 病床100床当たり臨床医師数 国際比較



経済的なご事情などで医療費のお支払いにお困りの方、「無料低額診療事業」のご相談を受け付けています。

今年夏の夏は上手に感染対策しながら熱中症予防を! "高温多湿のなかでのマスク着用"は熱中症リスクを高める! 注意: マスクを着用していると...体内の熱を放散しづらい...水分補給の回数が自然と減る...体の水分が失われがちになる

2 適宜マスクを外し、休憩をはさむ 3 マスク着用時に注意すること 4 日頃から体温チェック・健康管理を 参考資料: 厚生労働省「新しい生活様式の実践例」環境省・厚生労働省「令和2年度の熱中症予防行動」(機関紙編集部)

2020 国民平和と大行進県内行進日程

7月21日【福岡県より引継ぎ】

唐戸公園より下関市役所より山陽小野田へ市役所より小野田商工センター

23日 宇部市より市役所より常盤公園より小部より総合支所より秋芳体育館前より秋芳体育館

24日 長門のみすゞ公園より市役所より東萩駅

28日

公港⇒町役場⇒ 1日 岩国⇒通津駅⇒ゆめタウン⇒岩国市役所⇒ 2日 岩国市役所⇒岩国市役所⇒和木町役場⇒和木町⇒和木町役場⇒小瀬川引継場所⇒ 広島への引継ぎ集会

台周防大島台柳井港台柳井市役所

31日 台柳井市内台台開町役場台平生町役場台平生町役場台田布施町役場台田布施台光市役所台光駅

台光市内台恋ヶ浜台松下市役所台荒神橋

台荒神橋台周南市役所台徳山台周南市役所台総合支所台新南陽

台新南陽台徳山台周南市役所台総合支所台新南陽

台新南陽台徳山台周南市役所台総合支所台新南陽

台新南陽台徳山台周南市役所台総合支所台新南陽

台新南陽台徳山台周南市役所台総合支所台新南陽

核兵器のない世界の実現へ 共同をひろげるチャンス!

8月原水爆禁止世界大会オンラインで開催へ 山口県内平和行進7月21日スタート!



Youtubeより https://youtu.be/RKUYU6xfhQ 発言者・司会・通訳・スタッフの集合写真

今年度は広島、長崎への原爆投下から75年。4月24日から26日まで原水爆禁止世界大会がニューヨークで初めて開かれる予定でした。私は友人数人と参加予定で、4月23日は原水協が呼び掛ける開会総会と女性交流会では、サーロー節子さんのお話が聴けるはずでした。

25日は全体会、分科会、閉会総会。グレッタ・トゥンベリさんに会えたかもしれない。26日はユニオン・スクエア集会和マンハッタンパレード。ダグ・ハマンスヨルド広場での署名提出。新型コロナウイルス感染拡大の影響でなくなり、ニューヨーク行きは実現しませんでした。

世界大会はオンラインで開催され「公正な世界、社会、気候を実現し、核兵器も戦争もない世界を」との声明を発信しました。新型コロナウイルス感染症拡大

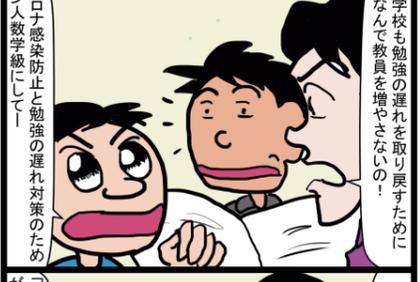
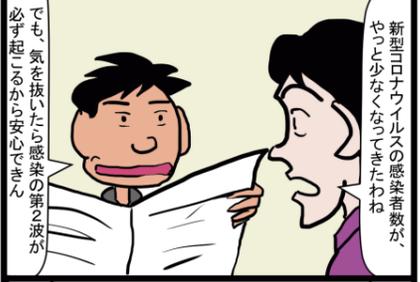
が起す問題は、人間の命や安全、被爆者のみなさんが警告してきた核兵器の問題についても考える大きな機会となっています。いま世界中で、格差と貧困、地球環境問題の解決、自由と人権、民主主義を求めて人びとがたたかきに立ち上がっています。「核兵器のない世界」の実現へ、共同をひろげるチャンスです。創意工夫してとりくみを進めましょう。(K)

☆毎年8月にヒロシマ・ナガサキで開催されてきた世界大会はオンライン開催が決まりました。

☆被爆地へ向けての平和行進(山口県内)は7月21日から8月2日に予定されています。4面の外枠に予定を掲載しますが、行進の形態などは6月末に最終決定されますのでご注意ください。

☆「平和の波」行動にとりくみましょう(8月6日8時15分から9日

家族が いちばん 新型コロナウイルス5 vol.123 by Y.M



転居及び氏名変更、亡くなられた場合(電話0836-34-2510)までご連絡ください。

読者の声

【恩田南支部 米本久子さん】
「コロナの影響で外出する機会がめっきり減りました。その分家事をていねいに、食事も栄養のバランスを考えて楽しく手作り、テレビ体操やオルゴール・オーキングも取り入れて規則正しい生活を心掛けています。読みたかった本を読んだり友人に便りを書いたり自粛生活を楽しんでいきます。

【下関支部 眞澄民子さん】
新型コロナウイルスに脅えながらの毎日ですが、テレビの中で人出の密をさける為に咲き誇る花を根元からハサリ切っているのに胸が痛みました。コロナとは長いつきあひになると聞きます。日も早く終息し、子ども達の元気な声と、何げなかった普通の生活のありがたさを感じています。

【新川橋の島支部 嶋田まささん】
県外で独居の父は介護なしで生活が厳しい状態です。私は医療従事者のため実家へ戻ることが規制される必要に応じて直ちに誰も受けられる体制を早急に実施してほしいです。

【小野田南支部 中川のしずかさん】
6月号の読者の声で、娘さんが飲食店を営んでいて営業自粛のため経済的に困っている話に胸が傷みました。一人10万円の特別給付金はとてもありがたかったです。自粛と同時に補償がないと成り立っていきませんよね。

コーヒーブレイク 25 和顔愛語



還暦の祝いの席で、「米寿の祝い? とんでもない、そんなによろしくない」と云った私。あれから20余年、気付けば私は87歳。還暦から駆け足で月日が過ぎた。



写真中央の女性が吉永さん

振り返ってみれば、何と多くの皆さんに支えられ、助けられて来たことが…。このままこの世を去って行くことは忍びない。何かひとつでもお役に立つことはないだろうか? と真剣に考えた。仏の教えを広め、実践させていただこうかと思った。

「忘己利他(もうこりた)」…己を忘れて他人のために尽くすという意味です。

「無財の七施」の中にある、和顔施・愛語施は、他人に優しい言葉を、優しい笑顔で接する等々、この教えなら老いたこの身でもできる。まだまだある仏の教え、実践させていただこうと。決心したら不思議、不思議。老いの身を忘れさせてもらいました。さあ、健文会のためにもうひと踏ん張りさせていただこうと。

(恩田中央支部 支部長 吉永美也子)

健康のひろば クイズ

今年も「健康チャレンジ」はじまります! 食生活・運動・睡眠休養・お口の健康・私の健康法の6つのコースがあります。

(○にカタカナが入ります。ヒントは3面)

【応募方法】住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、身近な出来事「ご意見・ご感想など、ひとこと書いて下さい。」ご意見・ご感想は、掲載させていただきます。ご意見・ご感想は、ひとこと書いて下さい。

●当選者に薄謝 5名様分
●締切 2020年7月末日
●発表 2020年9月号にて
●あて先 〒755-0005 宇部市五十田山町15の7の1 医療支援部健康文会まちづくり組合員活動支援部クイズ係まで
FAX 0836-34-2510
Eメール sosiki_kibun@yahoo.co.jp

【2020年4月分の答え】
2020年度は健文会が医療生協になって30周年です。

【出題者】
山陽支部 大上英子さん
ふじやま支部 中村 徹さん
岐波支部 高草澄子さん
高千帆支部 伊藤周作さん
常盤支部 武田洋子さん

おめでとございます。

防府市役所⇒原爆慰霊碑⇒県庁⇒県庁出発式 27日 防府市役所⇒防府市 26日 徳地仁保(宣伝カー)⇒徳佐駅⇒山村開発センター⇒阿東 25日 須佐駅⇒須佐支所⇒道の駅「阿武町」⇒阿武町役場⇒阿武

健康のひろばを、ご近所の組合員にお届けする『手配りさん』を募集しています。ご協力いただける方は ☎ 0836-34-2510 まちづくり組合員活動支援部まで。